



Copyright David Shrigley. Courtesy of David Shrigley and Stephen Friedman Gallery, London.

## NEW DRAWINGS — DAVID SHRIGLEY

会期：2017年11月2日（木） - 12月22日（金）  
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room  
shinjuku

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206  
営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

オープニングレセプション：11月2日（木・祝前日）17:00 - 19:00  
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

トークイベント：2017年10月31日（火）18:00-20:00（開場17:30）  
会場：東京藝術大学上野校地 中央棟第一講義室 ※日本語通訳あり ※定員180名（予約不要・無料・先着順）  
登壇者：デイヴィッド・シュリグリー、加賀美健  
聞き手：三輪健仁（東京国立近代美術館主任研究員）

後援：ブリティッシュ・カウンシル

協力：公益財団法人水戸市芸術振興財団、東京藝術大学美術学部附属写真センター、Stephen Friedman Gallery

2017年11月2日（木）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、デイヴィッド・シュリグリーの個展「NEW DRAWINGS」を開催いたします。

デイヴィッド・シュリグリーは1968年にイングランド北部のマックルズフィールドに生まれ、スコットランドで唯一の公立美術大学であるグラスゴー・スクール・オブ・アートを卒業し、現在はロンドンを中心に活動しています。



2012年にはロンドン、ヘイワードギャラリーにてキャリア半ばでの回顧展「Brain Activity」を果たし、この展覧会を受け2013年度には英国在住作家に贈られる名高いターナー賞にノミネートされるなど、ポストYBAs(ヤング・ブリティッシュ・アーティスト)世代の代表的なアーティストの一人です。

シュリグリーは、インスタレーションから絵画、彫刻、写真、映画、書籍、音楽と、様々なスタイルで作品を展開していますが、とりわけ日常生活のありふれた光景を機知に富んだ切り口で描いたドローイングと、写真、アニメーションはよく知られており、それらの作品には、駄じゃれ、ダブル・ミーニング、皮肉、厭世観など英国らしいユーモアのセンスがふんだんに盛り込まれています。

近年その活動はますます高い評価を得ており、2016年には、ロンドン市が主導する世界でも話題の現代アートプロジェクトのひとつであるフォース・プリンス・コミッション(第4の台座コミッション)の第11作品目として選出され、7メートルの高さに及ぶ巨大な「いいね」のジェスチャーを示したブロンズ彫刻「Really Good」を出現させました(第4の台座はトラファルガー広場の四隅にある台座のうち北西に置かれた台座で、現在ロンドン市の文化局が主導しコミッションプロジェクトを遂行、過去にはマーク・クイン、アントニー・ゴームリー、ハンス・ハーケなどがコミッション作品を展示している)。また本年度には、ロンドン市長のサディク・カーン氏によって発足された「London Is Open」キャンペーン(イギリスのEUからの離脱をうけ、ロンドンは依然として国際的であり、団結していて、世界に向けてオープンであると謳ったキャンペーン)にも協力しており、ロンドン中心部の至るところでシュリグリーのポスターを見ることができます。

日本では、2002年に東京オペラシティ・アートギャラリーで行われた「JAM:東京—ロンドン展」で、奈良美智とのコラボレーションが話題となり、また2014年には東京ステーションギャラリーで行われたブリティッシュ・カウンシル・コレクションによる「プライベート・ユートピア」展にも出品されていますが、これまで日本では個展開催の機会がありませんでした。今回、日本の美術館で初めての個展が水戸芸術館(会期:2017年10月14日-2018年1月21日)で行われ、同じく日本のギャラリーでは初めての個展を、弊廊で開催致します。

水戸芸術館での展示にはドローイング、立体、ビデオ、インスタレーションなどが出品され、初期から本展覧会のために制作された最新作までを通して、作家の全体像を捉えることができることでしょうか。

一方、弊廊では、シュリグリーの最も象徴的な表現であるドローイングにフォーカスをあて展示致します。シュリグリーは2014年にロンドンのハイエンドなカフェ「Sketch」にてスペース全体を使った大規模なドローイングインスタレーションを行っていますが、そこで展開されたドローイングシリーズの新作を見ていただくことができます。

シュリグリーは独特のユーモラスな感覚と絶妙なバランスで、作品を通じて鑑賞者に「思考する」ことを促し、作品と世界との間に新しい関係を作りだし、また美術館、ギャラリーといった美術界での注目のみならず、ミュージック・ビデオの制作、Tシャツをはじめとするグッズのデザイン、書籍の制作・発行など、マス・カルチャーのなかで、そのクリティカルな視点を決して失うことなく、大きな成功を収めているという点でも稀有なアーティストと言えるでしょう。そしてシュリグリー作品のもっとも特筆すべき点は、普段とりわけ美術に興味のない人でもその作品の前で思わず笑ってしまうような、誰もが楽しめる作品であるということです。

「芸術は誰のためのものでもある」、という作家の言葉がまさにここに実現していると言えるでしょう。

デイヴィッド・シュリグリーのユーモアと風刺に満ちたファンタスティックワールドにぜひ訪れていただき、それぞれの作品が持つ魅力を堪能していただけることを願っております。

## ■ オープニングレセプション

日時: 11月2日(木・祝前日) 17:00 - 19:00

会場: Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku



## ■ トークイベント「デイヴィッド・シュリグリーとのトーク、加賀美健を迎えて」

日時：2017年10月31日（火）18:00-20:00（開場 17:30）

会場：東京藝術大学上野校地 中央棟第一講義室（住所：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）

登壇者：デイヴィッド・シュリグリー、加賀美健

聞き手：三輪健仁（東京国立近代美術館主任研究員）

※日本語通訳あり ※定員 180 名（予約不要・無料・先着順）

主催：ユミコチバアソシエイツ

協力：公益財団法人水戸市芸術振興財団、東京藝術大学美術学部附属写真センター、Stephen Friedman Gallery

企画協力：MISAKO & ROSEN

### 加賀美健

1974年東京生まれ。現在も東京を拠点に制作活動を行う。主な展覧会に、2016年「さよならジュピター」356 ミッション、ロサンゼルス（グループ展）、2015年「comédie concrète」MISAKO & ROSEN、東京（グループ展）、「Green」（企画：パピーズ・パビー）ホワット・パイプライン、デトロイト（グループ展）、2014年「ブロンズ・ワークス 2013-2014」MISAKO & ROSEN、東京（個展）、2013年「19516 kilometers from Milwaukee or 12126 miles」MISAKO & ROSEN、東京（グループ展）、「THE FUTURE IS STUPID 加賀美健・スコット・リーダー」グリーン・ギャラリー、ミルウォーキー（グループ展）「アートがあれば 2」東京オペラシティーアートギャラリー、東京（グループ展）、2006年「HOLLOWIEN」クリンジンガープロジェクト、ウィーン（個展）がある。

加賀美は、日常で起こる出来事をジョーク的発想に変えて美術作品として発表してきました。これまでに、毎日の生活の中で当然のようにありふれた素材を使い、加賀美が日常から見つけてきた時事的な話題を組み合わせた彫刻を制作しています。作品に使われているほとんどの素材は、アメリカのどの街にもあるスリフトストアや東京の街角に良くあるリサイクルショップで見つけたアイテムです。使われなくなった物を取り扱うスリフトストアやリサイクルショップは、消費のせつない部分の象徴でありながら、加賀美健の作品を通してみると楽観的でポジティブなアイデアへと変容していきます。また新作は、美術の歴史の中で多く用いられてきた作品の素材をわざと使い、ごみや作品とならないはずのモチーフを無理矢理ブロンズ作品にしたシリーズなど美術史に言及したシリーズを多く手がけています。

ラジオ風番組「Ken Kagami のオールナイトすっぽんぼん」配信中 MISAKO & ROSEN Entertainment

<http://www.misakoandrosen.jp/entertainment/allnight/index.html>

### 三輪 健仁

東京国立近代美術館主任研究員、立教大学非常勤講師。主な企画（共同キュレーション含む）に「Re: play 1972/2015—『映像表現 '72』展、再演」（2015年）、「14 のタペ」（2012年）、「バウル・クレー展—おわらないアトリエ」（2011年）、「ビデオを待ちながら—映像、60年代から今日へ」（2009年）など（いずれも東京国立近代美術館）。最近の執筆に「ノンサイト—デス・ヴァレー」『ロバート・スミッソンの作品一覧—「プラスチック展」（1965年）から「ノンサイト展」（1969年）まで』（東京国立近代美術館、2017年）、「『アンチ・イリュージョン：手続き／素材』展における『映像』と『彫刻』の交差」『ニューヨーク—錯乱する都市の夢と現実（西洋近代の都市と芸術 7）』（竹林舎、2017年）など。

## ■ 研究冊子

本展の開催に合わせ、研究冊子を刊行致します。

『David Shrigley: Really Good』

執筆：三輪健仁（東京国立近代美術館 主任研究員）

ブックデザイン：小沼宏之

発売日：2017年11月2日（木）

仕様：A5判、32頁、和英バイリンガル、モノクロ仕様

発行元：ユミコチバアソシエイツ

協力：Stephen Friedman Gallery

定価：1,000円（税別） ISBN978-4-908338-09-0 C0070 1000E

## ■ 関連情報

デイヴィッド・シュリグリー「ルーズ・ユア・マインド —— ようこそダークなせかいへ」

会期：2017年10月14日（土） - 2018年1月21日（日）

開館時間：9:30 - 18:00（入場時間は17:30まで）

会場：水戸芸術館現代美術ギャラリー

休館日：月曜日、年末年始（2017年12月27日（水） - 2018年1月3日（水）、1月9日（火）

\*ただし2018年1月8日（月・祝）は開館



入場料：一般800円、団体(20名以上)600円 中学生以下、65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料  
※一年間有効フリーパス：「ハイティーンパス H.T.P.」1,000円/対象 15歳以上 20歳未満 「おとなのパス」2,500円/対象 20歳以上  
主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団 特別協力：ブリティッシュ・カウンシル 助成：グレートブリテン・ササカワ財団  
協力：アサヒグループホールディングス株式会社、YUMIKO CHIBA ASSOCIATES  
企画：竹久侑(水戸美術館現代美術センター)、カトリーナ・シュワルツ、クレア・フィーリー(ともにブリティッシュ・カウンシル)

## ■ グッズ販売

本展開催に際し、ワーカホリックス株式会社/ラムフロムより、オリジナルグッズが販売されます。

詳細は下記までお問い合わせ下さい。

Email: [info@lammfromm.biz](mailto:info@lammfromm.biz) 電話番号：03-5722-6901 (担当：椎名)

## デイヴィッド・シュリグリー

1968年 イギリス、マックルズフィールド生まれ  
ブライトン(イングランド)に在住

1988-91 グラスゴー・スクール・オブ・アート(スコットランド)

## <主な個展>

- 2016-17 Lose Your Mind, British Council, Guadalajara, Mexico touring to MAC, Santiago, Chile and Storage by Hyundai Card, Seoul.
- 2016 Drawings and Paintings, Stephen Friedman Gallery, London, England  
Colourful Works on Paper, Galleri Nicolai Wallner, Copenhagen, Denmark  
Song For The Rat, BQ, Berlin, Germany  
Prix Canson 2016, Drawing Center, New York, USA
- 2015 Anton Kern Gallery, New York, USA
- 2014-15 David Shrigley: Life and Life Drawing, National Gallery of Victoria, Melbourne, Australia
- 2014-16 David Shrigley at Sketch, Sketch, London, England (ongoing)
- 2014 Drawing, Pinakothek der Moderne, Munich, Germany
- 2013 Signs, Anton Kern Gallery, New York, USA  
Turner Prize, Edbrington, Derry-Londonderry, England
- 2012 Arms Fayre, Stephen Friedman Gallery, London, England  
Brain Activity, Hayward Gallery, London, England; touring to Yerba Buena Centre for the Arts, San Francisco, USA  
Beginning, Middle and End, Statens Museum for Kunst, Copenhagen, Denmark
- 2011 Animate, Turku Art Museum, Finland  
Yvon Lambert, Paris, France
- 2010 M Museum, Leuven, Belgium
- 2009 New Powers, Kunsthalle Mainz, Germany  
Fumetto, Kunstmuseum, Luzern, Switzerland
- 2008 David Shrigley, Monotypien, Museum Ludwig, Cologne, Germany  
BALTIC Centre for Contemporary Art, Gateshead, England  
Jonathan Monk & David Shrigley Corroborative Paintings, Galeria Estrany De La Mota, Barcelona, Spain  
BAWAG Foundation, Vienna, Austria
- 2007 Stephen Friedman Gallery, London, England  
To the Wall: David Shrigley with Lily Van der Stokker, Aspen Art Museum, Aspen, USA
- 2006 Yvon Lambert, Paris, France
- 2005 Photographs With Text On Them, BQ Galerie, Cologne, Germany
- 2004 Stephen Friedman Gallery, London, England  
Yvon Lambert, Paris, France
- 2003 Kunsthhaus, Zurich, Switzerland  
Billboard Commission, Gloucester Road Underground Station, London, England



- 2002 Camden Arts Centre, London, travelling to Mappin Gallery, Sheffield FRAC, Bretagne, France  
Musée d'Art Moderne et Contemporain, Geneva, Switzerland  
UCLA Hammer Museum, Los Angeles, USA
- 2001 CCS Museum, Bard College, New York, USA
- 1999 Stephen Friedman Gallery, London, England
- 1998 Yvon Lambert, Paris, France
- 1997 CCA, Glasgow, Scotland  
Stephen Friedman Gallery, London, England  
Photographers' Gallery, London, England
- 1996 Catalyst Arts, Belfast, Ireland  
The Contents of the Gap..., Luxus Cont.e. V, Glasgow, Scotland  
The Contents of the Gap ... Luxus Cont.e.V, Berlin, Germany
- 1995 Map of the Sewer, Transmission Gallery, Glasgow

### <主なグループ展>

- 2017 Folkstone Triennial, Folkstone, England
- 2016 Takashi Murakami's Superflat Collection, Yokohama Museum of Art, Japan
- 2015 Drawing Now: 2015, The Albertina, Vienna, Austria
- 2014-15 Private Utopia: Contemporary Art from the British Council Collection, Tokyo Station Gallery, Japan; touring to Itami City Museum of Art & The Museum of Arts & Crafts, Itami, Japan; The Museum of Art, Kochi; Japan and Okayama Prefectural Museum of Art, Japan
- 2014 Study from the Human Body, Stephen Friedman Gallery, London, England  
Generation, 25 Years of Contemporary Art in Scotland, Scottish National Gallery, Edinburgh, Scotland
- 2013 Fourth Plinth Commission, The Crypt, St Martin-in-the-Fields, London, England  
Homelands, British Council Touring Exhibition, curated by Latika Gupta; travelling to Delhi; Kolkata; Mumbai; Bengaluru, India
- 2012 A Parliament of Lines, Edinburgh City Art Centre, Edinburgh, Scotland  
Musique Plastique, agnès b. Galerie Boutique, New York, USA
- 2011 Ron Arad's Curtain Call, The Roundhouse, London, England; touring to Israel Museum, Jerusalem, Israel  
The Sculpture Show, Scottish National Gallery of Modern Art, Edinburgh, Scotland
- 2010 Rude Britannia, Tate Britain, London, England
- 2009 Than a T-shirt, Bielefelder Kunstverein, Bielefeld, Germany  
Sonic Youth etc.: Sensational Fix, Kunsthalle, Düsseldorf, Germany
- 2008 Life on Mars - 55th Carnegie International, Carnegie Museum of Art, Pittsburgh, USA, Curated by Douglas Fogle  
Laughing in a Foreign Language, Hayward Gallery, London, England  
Order, Desire, Light, Irish Museum of Modern Art, Dublin, Ireland
- 2007 Learn to Read, Level 2 Gallery, Tate Modern, London, England
- 2006 Under Gods Hammer: William Blake versus David Shrigley, Art Gallery of Western Australia, Perth, Australia  
Dear Friends, D.o.m.a.i.n.e. d.e. K.e.r.g.u.é.h.n.n.e.c, Centre d'art contemporain, Bignan, France  
The Compulsive Line: Etching 1900 to Now, The Museum of Modern Art, New York, USA  
Defamation of Character, MoMA PS1, New York, USA  
Six Feet Under, Kunstmuseum, Bern, Switzerland
- 2005 Emotion Pictures, MUHKA, Antwerp, Belgium
- 2004 State of Play, Serpentine Gallery, London, England  
Emotion Eins, Frankfurter Kunstverein, Germany  
Needful Things: Recent Multiples, Cleveland Museum of Art, Ohio, USA
- 2003 Love Over Gold, Gallery of Modern Art, Glasgow, Scotland  
Splat, Boom, Pow! The Influence of Cartoons in Contemporary Art, Contemporary Arts Museum, Houston, USA, touring to Institute of Contemporary Art, Boston and Wexner Center for the Arts, Columbus, USA
- 2002 The Galleries Show, Royal Academy of Arts, London, England  
Gags and Slapstick in Contemporary Art, CCAC Institute, San Francisco, USA  
Jokes, MAMCO, Geneva, Switzerland  
Open Country, Contemporary Scottish Artists, Le Musée cantonal des Beaux-Arts de Lausanne, Switzerland
- 2001 Televisions, Kunsthalle, Vienna, Austria
- 2000 Beck's Futures, ICA, London, England, (touring to Cornerhouse, Manchester and CCA, Glasgow) (catalogue)
- 1999 Love Bites, Ikon Gallery, Birmingham, UK; touring to Cornerhouse, Manchester, UK  
Zac 99, Musée d'Art Moderne de la Ville de Paris, France
- 1998 Young Scene, Secession, Vienna, Austria  
Habitat, Centre for Contemporary Photography, Melbourne, Australia
- 1997 Blueprint, de Appel Foundation, Amsterdam, Netherlands  
Caldas Biennale, Caldas da Rainha, Portugal
- 1996 The Unbelievable Truth, Stedelijk Museum Bureau, Amsterdam, Netherlands; Tramway, Glasgow, Scotland  
White Hysteria, Contemporary Art Centre of South Australia, Melbourne, Australia
- 1994 New Art in Scotland, CCA, Glasgow, Scotland



<主なコミッション・アワード>

- 2016 Memorial, Doris C. Freedman Plaza, Central Park, New York, USA  
Really Good, Fourth Plinth Commission, Trafalgar Square, London, England
- 2013 Nominee for the 2013 Turner Prize, London, England  
Shortlisted for the Fourth Plinth Commission in Trafalgar Square, London, England
- 2011 High Line Art (commissioned billboard), New York, USA

<パブリックコレクション>

アルドリッジ現代美術館、コネチカット州、USA  
シカゴ美術館、イリノイ州、USA  
アーツカウンシル・コレクション、ロンドン、UK  
ブリティッシュ・カウンシル、ロンドン、UK  
カートライト・ホール・アートギャラリー、ブラッドフォード、UK  
バード大学キュレーター研究センター、ニューヨーク州、USA  
ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク、USA  
ルートヴィヒ美術館、ケルン、ドイツ  
ピナコテーク・デア・モデルネ、ミュンヘン、ドイツ  
スコットランド国立近代美術館、エジンバラ、スコットランド  
コペンハーゲン国立美術館、コペンハーゲン、デンマーク  
テート、ロンドン、UK  
ティッセン・ボルネミッサ現代美術財団、ウィーン、オーストリア

---

**【本展に関するお問合せ】**

ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当：宮中由紀

オフィス：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #316 [Tel] 03-6276-6731

[e-mail] [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp) [website] [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp)

[営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日